

2009年2月4日

mail ニュース

No.27・通巻216号

# 自治労連 都庁職

自治労連都庁職員  
労働組合  
発行人 米山隆史  
TEL 03-5381-0250

## 自治労連都庁職組織集会開催

1月31日、自治労連都庁職第6回組織集会を開催し、各支部三役を含め多くの参加者で組織拡大・強化について議論がされました。

冒頭、森田執行委員長が主催者挨拶を行い、東京自治労連高橋書記次長の来賓挨拶を受けました。今回の組織集会は、年間の支部代表者会議（第1回：12月1日・第2回：1月19日）での支部の実情などの報告を受けながらの問題提起・課題・運動の方向を議論する集会で一年間かけて運動を進めることを確認しました。

自治労連中央執行委員の松尾豊さんから、「職場要求を幅広く結集し、組織拡大で組織活性化を」の内容で講演がありました。講演では、深刻な職場状況と各地の「住民の暮らしに思いをはせる職場」での実践報告で、具体的な各市職の課題や問題点、そしてその解決策など、都庁職場でもあり得る内容が示され、参加者からは「大変参考になった」との発言もありました。特に「本庁職場」での組合活動活性化、組織向上を目指す運動は、全国的課題であり教訓と方向性は、自治労連都庁職職場でも大きな問題として取り組むことが求められています。

特別報告では、小野塚衛生局支部長から「衛生局支部の組織拡大の取り組みについて」何があっても組合員拡大で、「支部長・書記長が拡大の先頭に立ち執行部に決意してもらい、組合員拡大を各会議の中心的課題と位置づける」と決意が述べられました。また、都庁関連法人一般労組の菊間書記長は「都庁法人の組織拡大の取り組みについて」として、多摩北部医療センターでの具体的な組織拡大についての苦労話と教訓・実践・成果の報告が生々しく話されました。引き続き、米山書記長の基調報告で、第5回組織集会の提起後の運動を総括しつつ、支部代表者会議の内容を踏まえ今年一年の課題と対応策が提案されました。

都区職員共済会・都区職員生協の報告の後、女性部を含め8支部からは、「組織集会を開催する」「非組対策では手紙を出して訴えているが中々継続した取り組みが出来ていない」「組織拡大で分会の活力を高めたい」「青年の組織化でイベント実施など工夫している」「仕事の中身など相談に乗りながら職場に入っていく」「脱退者対応も1回だけでなく継続的な対応」「組合の認知としての要求提出運動が大切で今年もやりたい」「職場の出来事を分会ニュースに書く」と職場の話題になる。引き続き職場の協力を得ながら継続したい」「組合員に少しずつでも協力で分会運営を継続している。協力の範囲・内容を広めていきたい」など職場実態報告や決意表明があり、「自治労連結成20周年を増勢に転じる年に」「東京自治労連5万人組織拡大」に向けて奮闘することが意思統一されました。

第6回組織集会閉会后、会場を変えて「自治労連都庁職旗開き」が開催され、60名近くの参加者が集いました。多くの来賓から激励の挨拶があり、自治労連都庁職の組織拡大・強化を推し進めていく団結の場となりました。